

桜朋

平成20年10月15日
日本大学第二学園／日大二高（二中・二商）
同窓会機関誌

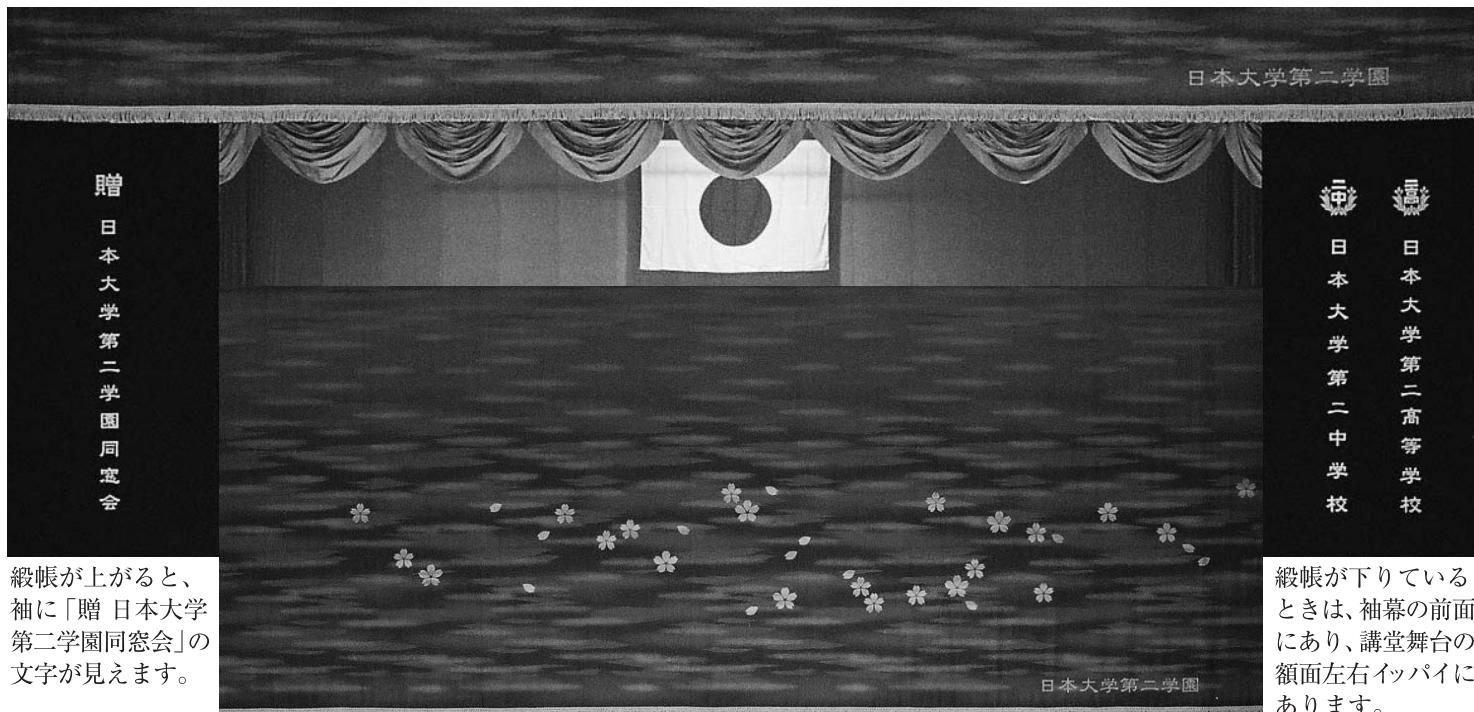
Vol.50 2008



編集・発行 日本大学第二学園同窓会 責任者 大塚 憲
〒167-0032 東京都杉並区天沼1-45-33 同窓会事務局(直通)TEL・FAX 03(5397)5525 郵便振替 00180-1-12069

題字=輿水季吉元校長先生

桜朋創刊50周年記念号



綻帳が上がると、
袖に「贈 日本大学
第二学園同窓会」の
文字が見えます。

綻帳が下りている
ときは、袖幕の前面
にあり、講堂舞台の
額面左右イッパイに
あります。

時を繋ぎ心を繋ぐ同窓会、さあ皆さん人生のこの一瞬を二高同窓会で！

日大二中・日大二高(旧制) 日大二中・日大二商)

目次

同窓生の集い

平成20年11月23日(日)

母校 日本大学第二学園

受付／午前11時30分

開宴／午後12時30分

会費 男性・女性 8,000円 学生・同伴 6,000円

(詳しくは本誌6~7頁をご覧ください)

※ 出欠の返信は11月10日(月)までにお願いします。

※ メ切後でもご都合の付く方は前日までにご連絡を。

TEL・FAX 03(5397)5525 同窓会事務局まで

本号は記念号につき12頁に増頁！

同窓会長、理事長、校長挨拶	2頁
卒業担任の思い出	3頁
校訓事始め	4頁
同窓会のあゆみ	5頁
総会の案内・プログラム	6・7頁
活躍している桜友会	8頁
80周年記念募金	9頁
桜朋の窓・活躍中の同窓生	10頁
年会費の現状をうつたえる	11頁
会務報告・会計報告	12頁

日本大学第二学園ホームページ <http://www.nichidai2.ac.jp/>

※年会費(1,000円)未納の方は、当日受付でお願いします。(昨年までの未納会費については、徴収いたしません。)

伝統を継承して「桜朋」創刊50周年

同窓会 会長 大塚 憲
(高校4回)



同窓生の皆さま、ご気嫌如何ですか。
ますます清祥にて各分野においてご活躍のことと拝察し、心からお慶び申し上げます。先きに母校創立80周年を迎える、学園の発展とともに同窓会の歴史と伝統も着実に積み重ねておりますことはご同慶の至りであります。

今年の新卒業同窓生は60回生という節目の年であります。

毎年の「同窓生の集い」は、今年は7年ぶりに母校にて開催という企画のもとに30回生の方々が実行委員の中心となって企画、運営、開催されます。これも毎年、卒業後30年の方々が中心になって運営されるという引き継ぎが定着したものです。

同窓生の絆で強く結ばれている日大二高同窓会の伝統を嬉しく思っております。

更に母校創立80周年を祝して、3年間の継続事業として80周年記念募金を進めておりますが、同窓会各位の熱きご支援、ご協力を頂きました目標を達成しつつあります。今年度は、その最後の3年目という事ですので、更なるお力添えをお願い申し上げます。私たち同窓生の心に残るお祝いとして同窓会寄贈による講堂体育館の緞帳が新調完成いたしました。「同窓生の集い」が実施される当には、そのお披露目も行なわれる事になっております。ご来賓も多数ご出席になる予定です。久しぶりに懐しい顔にお会いになれるでしょう。楽しみにお待ちしています。

銀杏並木は見守っている

中学校長 小坂部 好史



同窓生の皆様にはお元気にご活躍のことと推察いたします。

「桜朋創刊50周年」おめでとうございます。創刊当時、学園の近傍は住宅も少なく、畠もあり、今より数倍も緑豊かな環境であったことでしょう。当時、50年後に、地球温暖化とか、温室効果ガスなど、気候変動が問題化するとは、想像もしていなかったと思います。本年は、2050年には、2005年実績の温室効果ガス排出量の半減を目標に、低炭素社会を目指し、技術国日本が世界の国々に向けて、大きく鐘を鳴らした北海道洞爺湖サミットが開催された、記念すべき年にもなりました。

さて、本年の同窓会総会は、CO₂の少ない緑豊かな母校でのことですが、桜朋創刊当時の建物はありませんが、本学園で生活し卒業していった皆様を四季を通して見守ってくれた「銀杏並木」が世代を問わず、笑顔で、心より迎えてくれると思います。真に銀杏並木は学園のシンボルでもあり、同窓生の皆様の「絆」でもあります。桜朋創刊100年になっても、四季を通して、在校生、教職員、そして卒業生の皆様を静かに見守っていると思います。

学園は少子化の中、漸次成長、発展途上にあります。これも同窓生の皆様の母校に対するご支援の賜と感謝いたします。今後も学園の更なる発展のためご支援よろしくお願ひいたします。

同窓の皆様へ

理事長 長谷川 明
(高校8回)



桜朋創刊50号おめでとうございます。

同窓会の皆様には、益々御健勝のことと

お慶び申し上げます。日頃母校に対しまして多大のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。また皆様方の心のこもった寄付金を頂戴し、心より御礼申し上げます。寄付金につきましては、生徒のより良い学習環境の整備、充実に利用させて頂きたいと考えておりました、また同窓会ともご相談のうえ体育館舞台の緞帳の購入費用にさせて頂くことになりました。心より厚く御礼申し上げます。夏に取替え工事をし、今年の同窓会総会にはご覧頂けるものと思っております。

学園の運営につきましては、近年の教育環境は厳しさを増し、本校を取り巻く生徒募集環境も、例外ではなく極めて厳しくなってきております。そのなかで中学、高校共に優秀な生徒を集め、大学進学実績も高い伸びを示しております。このような状況下ではございますが、教職員が一丸となり、更なる力を出し、如何に教育の充実、質の向上を図るかが課題であり、教育目的を追求し、円滑に行われるよう留意し、学力の向上は勿論、心の教育、心豊かな人間教育を目指し、教育環境の整備、充実を図るよう運営し努力を続けております。同窓の皆様の益々のご健勝とご隆盛を祈り、皆様方のご理解、ご指導を賜り、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

活気溢れる学園生活

高校校長 林 俊雄
(高校12回)



中学、高校ともに男女共学になってから、今年で12年目になりますが、生徒たちは勉学に、学校行事に、部活動にと、積極的に取り組み、学園全体が活気に充ち溢れています。

今年の3月には新制高校発足後、「第60回」という節目の卒業式が行われ、417名の生徒が卒業し、同窓会に仲間入りしました。今年の卒業生も進学実績がすばらしく、日本大学をはじめ、早稲田、慶應、上智などの私立大学や東京大学などの国公立大学にも多数進学しました。特に頭文字が「MARCH」と付く私立大学には、延べ177名が合格し、都内にある高校全体で14位になるという合格実績を挙げています。

また生徒たちは、勉学以外の諸活動においても大活躍をしています。6月7日に行われた高校体育大会でも、生徒全員が全力を尽して競技し、二高生の心意気を示しました。大会のフィナーレを飾る伝統の「二高音頭」も、踊り始めてから今年で、50年目を迎えました。

部活動では野球部が春の都大会でベスト4入り、高校サッカー部も強豪堀越高校を破るなど着実に実力を付けています。文化部では今年創部70周年の吹奏楽部、数々のコンクールで受賞に輝く演劇部などの活躍が目立ちます。その他の部もみな、元気一杯頑張っています。

これからも、学園、後輩に対するご支援をお願いいたします。

〈同窓会協賛広告〉

日本大学第二 中学校
高等学校

■ 平成21年度募集要項

	中学校第1回	中学校第2回	高等学校推薦	高等学校一般
募集人員	男80名 女80名	男40名 女40名	男約50名 女約50名	男約50名 女約50名
入学試験日	2月1日(日)	2月3日(火)	1月22日(木)	2月11日(水・祝)
試験科目	国・算・面または国・算・理・社・面	作文・面接	国・数・英・面	
合格発表	2月1日(日)	2月3日(火)	1月23日(金)	2月12日(木)

■ 学校説明会

中学 10/18(土)・11/22(土)・1/10(土)
14:30~

高校 10/25(土)・11/15(土)・11/29(土)
14:30~

高校30回生の卒業担任の先生は…



●故高沼 清先生 (男子部A組担任:在職 昭和35年~平成5年)

私が大学の受験日当日朝に父が病気で他界し、当時あまりに突然の事態で今にも混乱しそうな精神を現実に引き止めてくれたのは高沼先生はじめ先生方、二高の仲間の姿でした。その後先生には父代わりに進学時の相談や支えになって頂きました。大学生時代ご挨拶をと思い連絡した所、既にご病気で他界された事を伺い、愕然と後悔した事を覚えています。「先生、本当に有難うございました。」 [長安 利光]



●関野公三先生 (男子部B組担任:在職 昭和40年~平成16年)

やんちゃな生徒達を先生はいつも温かく見守っていてくださいました。先生の怒った顔は今考えても思い浮かびません。二高は当時自由な校風でしたが、在学中は次々に問題を起し、大変迷惑をお掛けしました。10年ほど前クラス会に出席していただいた時、社会に出た私達を先生は楽しそうに眺めておられた事を思い出します。同窓会でお会いできる事を楽しみにしております。 [内藤 進]



●村上光雄先生 (男子部C組担任:在職 昭和30年~昭和61年)

恩師 村上先生は、旧理科校舎の奥の部屋でいつもコーヒーを飲んでいたのが思い出されます。大学受験の時は、「J大に推薦合格しても国公立なら受験できるから話の種に東大でも受験してみる」としていました。退職後は、フィリピンの電気の無い村の学校へ発電機を設置したり、日本中の教会を巡りデッサンを書き、本を出版したり、現在でもとても活動的な恩師です。 [浦田 英都男]



●白井典男先生 (男子部F組担任:在職昭和28年~平成10年)

高3の春に急遽担任になっていた。あまりにも突然のことだったので、生徒もびっくり、白井先生もご苦労されたと思う。ただ、先生が担任だったのは進学という点では、ラッキーだったかもしれない。受験対応の英語は、非常に役にたつが、私のようなぼんくらには馬に忿念だった。30年経って気がついたが、統一テストで、英語がさんざんだったのになんとか進学できたのは先生のおかげだとしか言いようがない。ありがとう先生。 [藤田 効]



●故福井慶一先生 (男子部E組担任:在職 昭和29年~昭和59年)

孝行をしたいときには親は無し。我らが「やぶ」が亡くなって早くも25年になります。会社を抜け出しバスに乗るのももどかしく荻窪のお宅に着いたときには先生はすでに棺の中でした。結婚したよ、子供が生まれたよ、報告したい事はいっぱいあるのに。まっすぐに落ちてくるあのけんこつ、今ではすっかり無形文化財になってしましました。「やぶ」のだみ声は今でもしっかりと胸に刻まれています。 [上田(田村)勝]



●高木晴夫先生 (男子部F組担任:在職 昭和37年~平成17年)

担任当初は野球部監督のため熱血・硬派の心象であった。体育祭の催物に男子部と女子部合同のダンスが決まり、先生自ら指導された時からその印象は払拭した。3種類のダンスの優雅なデモ、女性のエスコート法迄ご教示をいただいた。その後はgentlemanとして崇める存在となり、教職の私自身32年前の先生の姿を手本に学生指導をしております。いつまでもお元気でご活躍ください。 [福井 和徳]



●松田富明先生 (男子部G組担任:在職 昭和44年~平成19年)

「私の名は、しようたいふめい」と自己紹介し、「山賊の歌」を必ず歌う先生です。また、美人の事務の方と結婚された際、不思議がるものが多い中、先生の人間性が奥様に好かれたのだと私たちは知っていました。とことん私たちを見守りソフトなアプローチ続けて頂きました。3年次は、そういう先生を裏切ってはいけないとクラスはよくまとまりました。本当にありがとうございました。 [木村(政木)義徳]



●木暮紀夫先生 (男子部H組担任:在職 昭和45年~現在)

あの頃…、新入生のヤンチャな僕らに、新任の熱血教師…。お互い新人同士の、笑い有り涙有りの裸のぶつかり合い…。時には失敗や、羽目を外した事も…(^_^;)。今では、少し涙もろくなられたベテラン教師木暮先生ですが、その情熱はあの頃にも増して輝いています。僕らが大好きな熱血教師木暮先生が、とてもお元気で、今なお母校にて現役の教師を続けて居られる事を、大変嬉しく、誇りに思います。 [加山 好則・日置 雅宏]



●林 俊雄先生 (男子部I組担任:在職 昭和39年~現在)

林先生といえばあの大きな目玉。それは遠かつ広角でクラスを捉え、顕微鏡のごとき鋭さで一人一人の内面に迫る。時には「見て見ぬ」目であったことも思い出します。時折先生が語るご自身の二高時代は誇りと自信に満ちていて、それは私たちの励みであり憧れでもありました。生徒として後輩として見守られ、卒業して30年、林先生と同じ母校の同窓生であることを誇りに思ひ、感謝しています。 [堀 良治]



●高山清人先生 (女子A組担任:在職 昭和29年~平成18年)

「これこれ。教室で髪をとかしてはイケマヘンよ。洗面所で。」「ええ…先生。今だけ。今日だけ」「明日ありと思う心の徒桜、夜半に嵐の吹かぬものかは、です」清人先生はいつも笑顔で(その笑顔の真ん中にお菓子のコーヒービートをつけながら)叱って下さいました。卒業後もずっと私共の道の先に灯りをともして下さる清人先生。きよんどう先生の娘でいらっしゃるとうに幸せです。 [北澤(村上)さおり]



●国友たま先生 (女子B組担任:在職 昭和40年~平成2年)

「皆様はじめまして!国友たまでございます。」それが恩師国友た先生との出会いの初めてのお言葉でした。何と大和撫子でいらしたのでしょうか!!卒業を目の前にして、進路が確定した人…まだ決まらない人…色々な状況にある私達に先生がおっしゃって下さったステキなお言葉も、私は決して忘れません。「これから頑張って下さい…と同時に、皆さんのが今迄の頑張りを誇りに思います。」 [中川 由美子]



●山本康雄先生 (女子C組担任:在職 昭和26年~平成5年)

穏やかで優しくどこか飘々としているながら生徒を思いやってくれる先生でした。そんな先生の優しさに思春期真っ盛りの女子が付け込まないわけがなく、いかに授業をさせないと悪意を働かせては授業妨害していました(恋愛話を語らせる等)。闘病を続けられながらの担任生活はいろいろ苦勞があったのではないかと今なら推測できます。身をもって生きるということを教えていただきました。 [澤田(明村)雅世]



●故岡本 信先生 (女子D組担任:在職 昭和42年~昭和63年)

「真面目が鎧を着ているみたいね」と岡本先生に言われて、もう30年。岡本先生には1年と3年生、9歳年下の妹が2年生のとき担任でお世話になりました。お名前が「信」で数学担当ということなので男の先生だと思いこんでいましたが教室に現れたのが落ち着きのある優しそうな女の先生。ちょっとしたカルチャーショックでした。 [桐野(前島)よし子]



●故菅野 秀四郎先生 (校長先生:在職 昭和17年~昭和63年)

菅野秀四郎先生、というよりは私達にとっては今も 校長先生のシンボル的な存在として脳裏に焼きついているのではないかでしょうか。子供から大人への過渡期の中で、義務有っての権利、ルールの中での自由など、いざれ社会へ羽ばたこうとしている私達を、時には厳しい道しるべとして、そして時には優しい灯台の灯りとして 導いて下さいました。本当に有難うございました。 [瀬上 茂一]

<同窓会協賛広告>

内科・小児科

三上 医院

三上 淳(旧中15回)

〒167-0031 杉並区本天沼3-13-14
TEL. 03-3399-2566

<同窓会協賛広告>

天ぶら
季節料理
錦 天

小宴会に御利用下さい

杉並区阿佐ヶ谷南3-2-22 産業会館隣り
営業時間 11:30~2:00 5:00~10:00
定休日 木曜日 ☎03-3398-8363

宮野洋年(高校14回)

<同窓会協賛広告>

想い出メーカー

写真アトリエ シバタフォート

柴田 勝(高校14回)

東京都杉並区荻窪3-46-19-101 ボヌール荻窪
TEL・FAX 03-3392-0015

━校訓事始め━



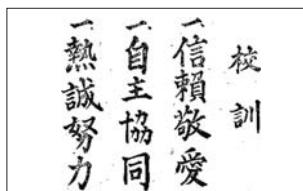
見上げれば校訓

日本大学第二学園は昨年、創立80周年を迎えました。

80年間にわたる教育が、荻窪という良き地で行われてきたということです。数多くの同窓生や教育に携わってきた数多くの教員の方々の中に、教育理念の心と精神が伝わり、受け継がれているということでもあります。

この私もこの学園でお世話になった3年間は毎日黒板を見るたびにその上には校訓があり、それを目にして過ごしてきました。卒業して30年以上経った今でも校訓をそらんじる事も書くことも出来るくらいですから、いかに3年間という日々、校訓を毎日何回となく見て、それが体にしみこんでいたことが分かります。

校訓は昭和24年4月学園歌と共に制定されました。学問に対する考え方から取り組み方、そして人として生きていく基盤となる姿勢をも伝えているように思われます。



「学園創立25周年記念誌」(写真右)に掲載されている校訓

教育五原則がそのルーツ

学園歌と共に制定された校訓の「信頼敬愛／自主協同」については、古畑校長先生の時代、当時の教育五原則に基づき、教員からのアンケートと話し合いにより決まったそうです。

その教育五原則は、現在、校門を入って右手にある山野井亀五郎先生の銅像の左右にある銘板に次のように記されています。

- 一、心身を鍛磨し、能力と個性を十分に伸長する。
- 二、相互の信頼と敬愛を深め、進んで世人を愛する。
- 三、自主性を高め、かつ互いに協力する精神を養う。
- 四、自己の使命を自覚し、熱心誠実に努力する。
- 五、規律と責任を重んじ、勤労をたつと習慣を養う。

戦後民主教育の精神を生かす

一方、学園創立25周年記念誌に掲載されている、当時の日本第二学園理事長・日本大学第二中高等学校長の山野井亀五郎先生による「創立二十五周年記念式典式辞」には次のように記されています。少し長くなりますが、引用させていただきます。

『我が第二学園の教育指導精神は、創立当初から日本大学の建学の精神である所謂(いわゆる)、「日本の学問研究を目的とする」という建学趣旨に則り、日本主義を標榜し潤沢な日本精神の所有者で、眞の日本人となる教養鍊成を唯一目的としたものでありましたが、終戦後は民主教育の精神に則り、校訓三則を掲げて、生徒教養の指導精神とした、信頼敬愛と自主協同とは民主教育の真髄であり、熱誠努力は勉学處世の信条である。眞の日本人となるには必ず信頼心に富み、敬愛の念に厚く、自主的で協同心に強く、しかも何事をなすにも、熱心で誠実によく努めよく励むことによって、必ずや成功するものであるという固い信念の下に、二中・二高の健男女を誘掖(ゆうえき)指導し、我が学園の教養鍊成の目標としたものであります』

※()と下線は編集委員会による

つまり校訓は戦後民主教育の精神に則った教育五原則を凝縮したものであるといえるのではないでしょうか。

校訓が支えてくれるもの

今の世の中、生活していくには、むしろ便利になりすぎているくらいがあります。物は溢れ、何でもすぐ手に届くところにあります。また、IT化が進み、インターネットでは世界中の情報を居ながらにして即座に手に入れるができるようになりましたが、そこには人ととの心の通うような温かみが少しおけるような気がします。

そばにいるだけで分かりあえる友達を持つことの大切さや、辛いことも一緒に乗り越えられる友達を見つけることのすばらしさ。そして周りの人を大切に思い信頼しあう気持ちや、我慢し堪え忍ぶことの尊さ、また、学ぶ楽しさもこの学園で教わったような気がします。その根底にあったのが校訓ではないでしょうか。今回、校訓について振り返ったとき、あらためてそれを強く感じました。そして、校訓は色あせることなく生き続け、受け継がれていくことだと思います。



学園創立者 山野井亀五郎先生銅像(左)と、校訓、教育五原則の銘板(右)

〈同窓会協賛広告〉

有限会社 司音楽事務所
日本の伝統音楽を守る会

月刊誌 邦楽ニュース

代表 大瀧 進一郎(高校7回)

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-6-24
TEL 03(3220)2040 FAX 03(3220)0222

〈同窓会協賛広告〉



日大二高ラグビー部OB会

会長 奥島康孝(高校20回)

2009年5月31日 創部80周年記念式典開催予定(於 京王プラザホテル)

〒167-0022 東京都杉並区下井草3-14-4
TEL 03-3394-8695 FAX 03-3394-8695

〈同窓会協賛広告〉



三立電気株式会社

一級施工管理技士

上野雅大(高校23回)

〒167-0051 杉並区荻窪3-12-5
TEL 03-3398-1141 FAX 03-3398-1179

日本大学第二学園同窓会のあゆみ

年度	歴代会長	学園の事業	同窓会事業	総会会場	担当期	号	発行日	桜朋
	①大久保金蔵 ②小林外治郎	①初代会長						
昭和30年	③古畑 武	30周年記念	歴代総長・理事長・校長写真額11面贈呈	日大二高				
31年	〃			〃				
32年	〃			〃				
33年	〃			〃				
34年	〃		会報 桜朋発行	〃		創刊	10/31	B5判20
35年	〃	本館校舎建築		杉並公会堂		2	6/1	16
36年	④森田弥一	本館校舎落成		日大二高		3	〃	12
37年	〃			〃		4	〃	16
38年	〃			〃		5	〃	20
39年	〃		卒業10年後に年会費制	〃		6	〃	20
40年	〃	40周年記念	協賛募金(500万円)水泳プール	〃		7	6/10	16,号外2
41年	〃			〃		8	9/10	8
42年	⑤柴田勝治			〃		9	〃	10
43年	〃		桜朋10周年	アサガヤボウル		10	10/1	8
44年	〃	輿水校長永眠		日大二高		11	9/20	14 号外2
45年	〃			〃		12	10/1	8
46年	〃			〃		13	〃	8
47年	〃		会員名簿発行	新宿駅ビルレインボーホール		14	〃	8
48年	〃			〃		15	〃	8
49年	〃			〃		16	〃	8
50年	〃			日大二高		17	10/10	8
51年	〃	50周年記念	協賛募金(800万円)芸術校舎	〃		18	〃	8
52年	⑥水野長太郎			京王プラザホテル		19	〃	8
53年	〃		桜朋20周年	ホテルニュージャパン		20	〃	12
54年	〃		桜友会に書庫・ロッカー・黒板(26万円相当)贈呈	〃		21	〃	12
55年	〃			日大二高		22	9/20	8
56年	〃		高校1・2部会合併高校部会に 総会・甲子園キャンペーン	池袋サンシャインプリンスホテル		23	10/1	8 号外
57年	〃			中野サンプラザ		24	10/1	10
58年	〃			〃		4	25	〃
59年	〃			市ヶ谷日大会館		6	26	8
60年	〃	理科教舎落成		中野サンプラザ		7	27	〃
61年	〃	60周年記念	学園方針で協賛募金なし	赤坂プリンスホテル		8	28	8
62年	〃	武道館落成		ホテルニューオータニ		9	29	6
63年	〃		桜朋30周年・会員名簿発行	南国酒家		10	30	6
平成元年	〃			新宿ワシントンホテル		11	31	6
2年	〃		卒業5年後に年会費制	中野サンプラザ		12	32	6
3年	〃			東中野日本閣		13	33	6
4年	〃			飯田橋ホテルエドモント		14	34	6
5年	〃			吉祥寺東急イン		15	35	6
6年	〃			ホテル海洋		16	36	6
7年	⑦野崎貞彦			ホテルニューオータニ		17	37	6
8年	〃	70周年記念 本館校舎落成	協賛募金(800万円)本館校舎・桜の絵画と祝金	東京ヒルトンホテル		18	38	8
9年	〃			ホテルメトロポリタン		19	39	8
10年	〃		桜朋40周年・会員名簿発行	ホテルセンチュリーハイアット		20	40	8
11年	〃	(12回卒)林俊雄氏中学校長に就任		東京全日空ホテル		21	41	8
12年	〃	山野井理事長永眠	同窓会資料室開設	ヒルトン東京		22	42	8
13年	〃	高山理事長就任		日大二高		23	43	9/20
14年	〃			京王プラザホテル		24	44	10/1
15年	〃		銀杏保存募金(150万円)	〃		25	45	6
16年	〃			アルカディア市ヶ谷		26	46	6
17年	⑧長谷川明			〃		27	47	8
18年	⑨大塚 憲	(8回卒)長谷川明氏理事長 に就任 80周年記念	協賛募金(1000万円) 教育施設の充実	ヒルトン東京		28	48	8
19年	〃			京王プラザホテル		29	49	8
20年	〃		講堂体育館の綱帳を新調寄贈・桜朋創刊50周年	日大二高		30	50	10/15
								12

〈同窓会協賛広告〉

西武新宿線「久米川駅」南口徒歩4分

本格中国料理の店オープンしました

★全席85名様(個室40名様まで・立食120名様)

★ご宴会(記念行事・歓送迎会・ご法事・新年会・忘年会)などお気軽にお相談下さい。

★店内ステージには、グランドピアノ・ドラム・ベースアンプ常設しており

ピアノ発表会、ミニライブなどご利用いただけます。

《27回生 貢井喜充(49年度卒)》

中国ダイニング & ライブスペース

〒169-0013 東京都東村山市美沢町2-39-18

TEL 042-392-5505 Fax 042-401-8426

E-mail saika-dining@sa8.gyaone.jp

〈同窓会協賛広告〉

スポーツバッグ製造・御

ヒマール産業株式会社

代表取締役

内林清隆(高校29回)

本社 〒166-0003 杉並区高円寺南1-24-11 HICビル

TEL 03-3312-8529 FAX 03-5306-0261

e-mail:hic-uchibayashi@h4.dion.ne.jp

〈同窓会協賛広告〉

クリニック カミオギ

院長 原野 悟(高校29回)

医学博士・公衆衛生学修士(米国)

診療科目 内科・外科・脳神経外科(学会専門医)

アンチエイジング・旅行医学・漢方

診療時間 月~土木曜 10~13時、14~18時

休診日 金~日曜、祝日

〒167-0043 杉並区荻2-30-12-001 TEL 03-6909-0477

本年は母校で開催です。 大先輩から新同窓生まで、二高で一堂に会する機会は7年ぶり。銀杏並木のかたわら、初々しく爽やかなあの時代にタイムスリップしませんか。

NHKの畠山智之さん(29回卒)の司会のもと、Dandy Catsと青い三角定規による懐かしいメロディー、一日だけの応援団再結成、二高音頭、東京會館のお料理などを用意して皆様をお待ちします。クラスメイトや部活仲間で声を掛け合い、恩師の先生をお誘いして是非お集まり下さい。

懐かしい母校、新しくなった母校で旧交を温め、また、未来に向けた新たな出会いと友情を築く場になればと考えます。実行委員(30回卒)は、二高教職員の方々から多大なご支援を頂いて、準備活動に取り組んでいます。

同窓会会長 大塚 憲 (高校4回)
総会実行委員長 磯川桂太郎 (高校30回)

世代をこえて受け継がれる、 つよい絆と新しい出会い

同窓生の集い

平成20年11月23日(日)

日本大学第二学園内にて開催

同期からこのメッセージの依頼を受け、自分達が卒業から30年を超えていることに改めて知らされたような気がします。

高校時代は、大学ともまた違う何か特別な時期でした。7月24日、久々に母校野球部の活躍をテレビの画面で見ながら、この時代があったからこそ、今の自分が存在することを教えられます。そんな自分達の、生きていく軸をもらった時代を一時でも一緒に思い出してみませんか?

北京オリンピック
トライアスロン ナショナルチームコーチ
飯島健二郎 (高校30回)



青春はみっともないものです。
日大二高の思い出も私にとって恥ずかしいものばかりで、長い間、足を向ける勇気がありませんでした。

けれども数年前、約30年ぶりに母校を訪れる機会がありました。荻窪駅からあの頃通った道を歩くうちにドキドキしてきました。校門をくぐり、銀杏並木が見えると、思わず駆け出していました。そして思い出しました。ああ、私は二高生でよかった、と。もし私のような卒業生がいたら、ぜひこの機会に母校を訪れてください。そこに立たないと思い出せないことってありますよ。

久しぶりにドキドキしてみませんか。

脚本家 中園 美保 (女子30回)

〈同窓会協賛広告〉

大久保ヴァイオリン工房

製作・販売・修理・製作教室
アコースティックギター販売・修理
輸入ディズニーフィギュア販売

大久保 治 (高校30回)

〒359-1151 所沢市若狭1-2944-23
phone: 04-2947-4699 西武池袋線「狭山ヶ丘駅」
okuboviolinkoubou@view.ocn.ne.jp 下車徒歩約7分
http://www.nn.ij4u.or.jp/~nekokubo

〈同窓会協賛広告〉

OKABE

Dental Technologist

岡部宏昭 (高校30回)

〒154-0011 東京都世田谷区上馬2-29-16 ウイスハイムⅡ201
みなよい歯磨 入れ歯屋
TEL/FAX 03-3419-1088
E-mail qkyo9108@agate.plala.or.jp

〈同窓会協賛広告〉

KOJI OGAWA ARCHITECT & ASSOCIATES

小川広次建築設計事務所



代表取締役/JIA登録建築家

小川広次 (高校30回)

〒182-0022 調布市国領町1-7-7
TEL 042-482-3027
http://www.koaa.co.jp

桜友会活動頑張っています！

進学成績を着実に伸ばしている本学園ですが、並行してクラブ活動である桜友会活動においても、すばらしい結果を残しています。

自らの将来を自らの手で切り拓く力を備えるためには、心身共に健康であることが基本。クラブ活動である桜友会の活動で培われるものは多大です。その桜友会活動の根底になっているのが、まさしく4ページでふれている校訓ではないでしょうか。

運動部は22部にも及びます。若いエネルギーがぶつかり合う

放課後の学園は青春そのものです。厳しい練習を重ね、都・関東・全国大会へ駒を進める部が着実に増えています。文化部は19部。地味な存在ではありますが、それぞれの感性が磨かれる場として熱心に活動しています。文化祭・定期公演は、その成果発表の場になっています。

桜友会での活動をきっかけに活躍している著名なOB・OGも多く、伝統は今に受け継がれています。そんな桜友会の活動の一部をご紹介します。後輩達の活動を是非応援いたしましょう。

桜友会活動報告

クラブ名	月	大会名	成績
軟式野球部	5	東京都中学校野球春季大会	ベスト8
	7	東京都中学校野球選手権大会	準優勝(関東大会出場獲得)
	8	関東中学校野球大会	
硬式野球部	4	春季東京都大会	ベスト4(西東京大会第2シード獲得)
	7	西東京大会(全国高等学校選手権)	ベスト4
ラグビー部	3	関東地区高等学校ラグビーフットボール15人制合同チーム大会	優勝(全国大会関東代表権獲得)
	7	第4回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会	4位
サッカー部	5	高校総合体育大会東京都予選兼国体予選会	都大会進出獲得
バトミントン部	6	インターハイ都予選Bブロック大会	男子 第3位
陸上競技部	5	東京都高等学校陸上競技選手権大会	男子 5000m 7位入賞
柔道部	5	インターハイ都大会 男子 90kg	男子 90kg 5位
演劇部	4	東京都高等学校演劇部春季発表会	演出賞受賞

新装！立川グラウンドクラブハウスが完成しました

野球部、ラグビー部の練習場として利用されている立川グラウンドのクラブハウスの老朽化が進み、この度学園の19年度事業計画の一つとして新しく建て替えられました。

十分な数のロッカーを備えた部室のほか、使い勝手のよい厨房や明るく衛生的な食堂、大きな風呂等を完備し、宿泊機能も備えた近代的な施設です。他のクラブの練習、あるいは研修等にも利用される予定。グラウンド内のベンチも、より大きく頑丈なものに造り変えられました。

スポーツ、研修環境の充実が一層図られたことは、学園の大きな特色になります。また、毎日利用する野球部にとっては、効率よく練習に集中できる環境が整備され、今後の活躍の力になってくれることでしょう。



新しいクラブハウス外観(20.3.31 竣工)

桜友会 懐かしの 三三 アルバム



テレビ出演中の吹奏楽部
(昭和32年)
華道部の練習風景
(昭和35年)

陸上競技部(昭和36年)
全国大会優勝の
陸上競技部(昭和36年)

写真は、学園の許可を得て「日本大学第二学園 創立80年」より転載させていただきました。

〈同窓会協賛広告〉



ハイビジョン・NBIシステム・拡大内視鏡使用
調布外科・消化器科内科クリニック
(食道・胃と大腸の内視鏡専門クリニック)

*142-0033 東京都調布市上石原1-4-14
Tel:042-483-1360 Fax:042-498-0158

【FAX】 Tel:042-498-0363

E-Mail:cgc.clinic@gmail.com

医学博士
中村 尚志 (高校30回)

〈同窓会協賛広告〉

WATER SUPPLY WORKS
HIOKI
since 1973

水回りのことなら
お気軽に

(有)日置設備工業

日置 雅宏(高校30回)

〒178-0064 練馬区南大泉2-1-53
TEL-FAX 03-3921-6824

〈同窓会協賛広告〉

古川歯科医院

古川俊彦(高校30回)

〒185-0024 東京都国分寺市泉町3-26-10
TEL 042-325-1027

野球部、夏の西東京大会ベスト4に!

～32年越しの宿敵、桜美林も倒す～

夏の西東京大会にて、高校29回生・田中吉樹監督率いる野球部は、ベスト4と健闘しました。勉強も野球も「一生懸命」をモットーに、部員82名、マネージャー4名が一丸となって目標に向かって練習してきた「全員野球」。これが、今春ベスト4に続く結果を出す原動力になったのでしょうか。

そして、この大会にはもう一つのドラマがありました。32年前の西東京大会決勝・桜美林戦のこと。8回に逆転され惜しくも甲子園出場を逃したのですが、そのときに悔し涙を流したレギュラーの一人が田中監督だったので（桜美林は甲子園に初出場し、優勝）。その宿敵桜美林に3回戦で対戦、当時の部員達も見守る中、見事にコールド勝ち！ 野球部OBに留まらず、同窓一同が不思議な達成感を得た瞬間でした。

準決勝では、日大鶴が丘高校と追いつ追われつの接戦の末、残念ながら破れましたが、第2シードの実力をを見せた堂々たる戦いぶりに伝統復活の兆しが見られました。

まだまだ課題はあるでしょうが、着実に一步一歩前進しています。その歩みを止めることなく「一生懸命」を続けていけば、一段とたくましさも増すことでしょう。また、3年生はほんとうにお疲れ様でした。思いはそれぞれあるでしょうが、歴史ある野球部にまた新たな1ページが刻まれました。



桜美林戦での熱のこもった応援風景

ラグビー部、全国合同チーム大会出場!

～菅平高原を疾走し、4位に～

活躍しているのは野球部だけではありません。ラグビーは7月22日～25日に長野県・菅平高原で開催された「KOBELCOカップ2008 第4回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会」に出場しました。

ラグビー部は部員数が少ないため、部員不足の学校の生徒で構成するU18の部に、修徳高校と合同チームをつくりて参加。関東地区大会で優勝し、関東代表として菅平での全国大会へ臨み、4位という輝かしい結果を残しました。

この大会は日本ラグビーフットボール協会がラグビーの普及活動の一環として主催し、社会人の名門・神戸製鋼グループが特別協賛している大会。日頃、部員数が少ないながらも工夫して練習していけば、その成果を發揮する機会があるのはすばらしいことです。夏のラグビーのメッカ・菅平での活躍が今後のラグビー部の活力となり、部員数の増加にもつながることを期待しましょう。



迫力あるラインアウトでのプレー

〈同窓会協賛広告〉

「おかげさまで創業52年」

京王線八幡山駅北側赤堤通り沿い

八幡山薬局

古澤壽男(高校30回)

〒168-0074 杉並区上高井戸1-8-27
TEL (3302)8888 Fax (3302)8852

〈同窓会協賛広告〉

タカギ歯科医院

歯科医師 鷹木嘉昭(高校18回)

歯科技工士 鷹木 修(高校32回)

〈同窓会協賛広告〉

リスクマネジメント、相続・事業承継コンサルティング

株式会社 プライマリー

担当 青柳辰喜(高校34回)

〒111-0041 東京都台東区元浅草1-5-1 本島ビル2F
TEL 03-3843-9188 FAX 03-3845-7292
E-mail aoyagipf@nifty.com

The 80th anniversary

同窓会 会員各位

80周年記念募金のお願い 平成20年10月15日

～記念募金は講堂の緞帳新調に～

80周年記念募金は3ヵ年計画（平成18年～20年度）で現在実施中です。19年度までの募金額は、下の表のとおり、7,000,000円に達しました。ここに皆さんのご協力を感謝申し上げます。

募金は、「教育施設の充実」の一環として、講堂の緞帳新調に役立てていただることになりました。（表紙参照）

今年度が最後の3年目になります。同窓会として、創立80周年を祝うとともに、学園の将来計画に賛助し、協力していくことが大切であると考えております。会員の皆様にもご理解いただき、目標額の1,000万円まで更なるご支援、ご協力を賜りたくお願いいたします。

また、クラス会、同期会やOB・OG会開催などの折には、同窓の方々に是非お声をかけていただければ幸いです。

目標額までもう少しです！ ご協力ください。

平成18～19年度 募金状況

旧中	73名	1,265,000円
旧商	39名	967,000円
高校	(1～20回) 192名	2,451,000円
	(21～40回) 151名	1,188,850円
	(41～60回) 44名	215,500円
女子	112名	1,010,000円
その他	17名	336,691円
合計	628名(含5団体)	7,434,041円

※今年も、募金ご協力者の芳名録を同封しましたので、ご覧ください。

同期会・クラス会

旧中12回 E組 19.10.25 新宿ルミネ「いらか」(幹事)安井春樹 参加5名
 旧中15回「白桜会」19.10.6 中野サンプラザ15Fアクアルーム(幹事)松本 服部 参加18名
 旧中16回 19.11.24 目黒「香港園」(幹事)葉梨茂 井口昭治 藤井昭三 参加26名
 旧中17回 第14回同期会 20.3.29 アルカディア市ヶ谷(幹事)藤繩 参加18名
 旧中20期 19.11.8 クラブイン荻窪(幹事)大角 川本 大橋 水野 櫻井参加22名
 旧商 9回 19.11.2 荻窪「東信閣」(幹事)関根一夫 参加11名
 高校 4回・D組「泰山塾」19.10.13(土)中野駅南口「三河屋」(幹事)篠壽次 山口浩正 参加16名
 高校 4回・F組「第57回とさか会」20.7.17 母校見学後懇親会(幹事)小林 生男 参加13名
 高校 8回 同期会 20.5.31 新宿「中村屋」(幹事)篠 大太郎 参加約50名 来賓 藤井昭三先生
 高校 9回 同期会 20.1.26 新宿「しょう助」(幹事)市川啓一 参加15名 来賓 藤井昭三先生
 高校12回 同期会 19.9.9 浜松町「東京會館」(幹事)林俊雄 栗山洋子他 参加35名
 高校13回 19.12.8 第1部母校-第2部ホテルアミタ阿佐ヶ谷(幹事)清水正敏 参加54名
 高校16回「白眉会」20.7.18 南国酒家(幹事)国分光洋 参加18名
 高校25回 19.10.20 京王プラザホテル1Fグラスコート(幹事)村田恭男 参加70名
 高校20回 19.12.1 荻窪「三猿」(幹事)橘国太郎 参加25名
 高校29回 同期会 20.9.13 中野サンプラザ(幹事)大羽俊英 参加95名 長島庫子先生他
 高校34回 同期会 20.7.5 母校生徒食堂(幹事)善如寺宏 参加約100名 井上先生他
 西東京二高会 19.10.27 田無「魚民」(幹事)金子矜一 参加10名



「西東京二高会」の皆さん



高校4回・F組「とさか会」の皆さん

相馬杯第18回 高校21・22回を中心で開催され、19.10.28 玉川GC(幹事)川瀬誠 参加21名
 日二会 高校23回生を中心で開催、第80回を19.12.4狭山GC(幹事)尾崎 参加24名

予告

ラグビー部 21.5.31 京王プラザホテルにて創部80周年記念式典
 高校4回D組「泰山塾」20.11.8(土) 荻窪に集合、母校見学後通学路途中の「春木家本店」で懇親会(幹事)久野木 誠

OB・OG会

硬式野球部 20.3.1 吉祥寺「安養寺」(幹事)木村 参加約40名
 美術部 20.3.1 荻窪「あめん坊」(幹事)伊藤千夏 参加31名 伊澤先生
 陸上部 20.3.30 母校生徒食堂(幹事)斎藤雅之 参加約80名
 柔道部 20.6.29 昭島 牛たん居酒屋「たんや」(幹事)岩崎 参加30名 山内先生 山根先生
 吹奏楽部 20.7.6 クラブイン荻窪(幹事)朝山 真 参加24名 藤井先生 吉田先生 笠置先生
 軟式テニス部 OB合宿 20.7.26 ~ 27 道志村「山光荘」(幹事)川島涉 参加35名
 軟式野球部「野球祭」20.8.31 母校グランド(幹事)池田 参加約150名(現役・保護者等含む)



活躍する同窓生

- 津田 尚【号・尚石】(高校4回) 書道家、千葉県書作家連盟会長。毎年、連盟展を開催、注目を集めている。
- ねじめ 正一氏(高校19回) 作家 20.8.26 中央公論文芸賞を「荒野の恋」で受賞。
- 中園 ミホ氏 (女子30回) 脚本家 日大芸術学部卒業、数多くのドラマを手がけているが、7月放送の「あの日、僕らの命はトイレットペーパーより軽かった」で話題に。
- 三宅 康文氏 (新中6回) 書体デザイナー 個展「文字は生きている」を6月に練馬区立美術館で開催。代表作にはモリサワの「じゅん」等がある。

〈同窓会協賛広告〉



株式会社 建設エンジニアリング

代表取締役社長

宇津橋喜禎(高校34回)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-15 藤井ビル5階

電話 03-5822-0088 FAX 03-5822-0081

E-mail : utsuhashi_k@kensetsu-eng.co.jp

http://www.kensetsu-eng.co.jp

〈同窓会協賛広告〉

医療法人 優萌会 / 歯科・インプラント・矯正

新海歯科医院

院長・理事長

新海 誠(高校35回)

〒362-0046 埼玉県上尾市大字壱丁目346-10

TEL 048-725-2365 FAX 048-726-2813

http://www.shinkai-dc.com/

次の方に栄典が授与されました。
 これからも益々ご活躍ください。

(平成19年秋)

○沢田 祐爾(新中4回)

平成19.11.3 旭日小綬章(芸術文化功労)

(平成20年春)

○野崎 貞彦(高校7回)

平成20.4.29 瑞宝小綬章(厚生行政事務功労)

永年勤続退職の先生

○榎本 猛夫(国語科教諭)

在職 昭和45.9~平成20.3(38年間)

○伊澤 完人(芸術科教諭)

在職 昭和48.5~平成20.3(35年間)

○紀藤 雅博(理科科教諭)

在職 昭和51.6~平成20.3(32年間)

○朝倉 洋子(理科科教諭)

在職 昭和52.4~平成20.3(31年間)

○小野 美恵子(事務職員)

在職 昭和50.5~平成20.3(33年間)

やっと、我らの出番です!!

2009年同窓会実行委員は高校31回生(54年卒)です。

卒業して30年、そうそう懐しいあの笑顔が恋しくなる頃、多数のご参加をお待ちしております。

連絡先: 菊池章夫

E-mail : kikuchigiko@jcom.home.ne.jp

携帯電話 : 090-4839-9139

同期会・クラス会、OB・OG会の幹事の皆さん

毎年この頁の情報集めに、大変苦労しています。

同窓生を中心とした集まりや、活躍している同窓生、また叙勳を受けられた方がおられましたら、同窓会事務局宛て報告下さい。

※組織活動強化費を同窓会より給付された会の方も、結果をご報告ください。

〈同窓会協賛広告〉

井上会計事務所

税理士

井上 真(高校35回)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-16-12階

TEL 03(3352)7891 FAX 03(3352)8440

http://www.tkcnf.com/inoue

同窓会活動を支える運用資金が、逼迫状態です。
あえて会員一人一人に、ご理解とご協力を訴えます。

同窓会活動を運営して行く上で、必要な運用資金としての年会費が、伸び悩み状態で、資金が逼迫して、ゆとりがない状態です。必要な事業計画も、収入額によって、ぎりぎりの振り分けをせざるを得ません。余裕があると、もう少しいい内容の活動も実現出来るはずです。

○資金の現状 運用資金の主たる収入は2種類で、①新卒業生が、高校卒業時に納める入会金10,000円と、
②卒業6年後から納める年会費1,000円 がありますが、収入額の大半(80%)を入会金に頼っているのが現状です。

○逼迫の原因 ①高校の入学定員が、500名から400名となり、平成13年度より、新入会員が約100名減少しました。
②年会費が、予定通り集まらないことが大きい。会員が自主的に納めるもので、強制力はない。

最近5年間の年会費納入状況を見てみると、

平成15年度	1,591,000円	3年計画の銀杏保存募金あり
平成16年度	1,295,000円	〃
平成17年度	1,647,000円	〃
平成18年度	1,111,000円	3年計画の80周年記念募金中
平成19年度	1,176,000円	〃

このように年々減少方向になっています。

○会費の使途 12頁の会計報告にも詳しく載っていますが、主に次のようにになっています。(平成19年度決算)
1. 同窓会員に向けて、

①会報費	桜朋などの印刷・発行発送	3,292,277円
②人件費(交通費)	嘱託事務・常任理事	1,163,900円
③会議費	総会準備・会議食事	569,346円
④通信費	諸会合通知・切手	261,642円
⑤予備費	代議員名簿印刷	251,370円
⑥事務費	コピー機リース・用紙	236,464円
⑦組織活動費	クラス会・同期会祝金	180,000円
2. 新卒業生に向けて、卒業記念品(卒業証書ホルダー)、同窓会奨励賞		292,793円
3. 在校生に向けて、奨学金(19年度の貸与者は5名)		1,323,055円
4. 学園に向けて、儀礼費(入学・卒業式、体育大会祝)		140,000円

このように限られた予算を有効に使い、事業を展開しています。

○事業の継続 収入は減っても、会員とのコミュニケーションを継続して行くことが大事で、会報「桜朋」の発行と、総会「同窓生の集い」の開催は、会の目的達成のため、継続実施して行かなくてはなりません。

○現状の転換 入会金に頼って来た現状を反省して、会としていい方向に転換を計り、本来の在り方である自分達のことは自分達の力で、何とかするという方向に持つて行かないといけないので、努力して行くしかないと思います。現状を直視し、再認識した上、何で年会費を払う人がこんなに少ないのか、原因を分析し、対応を検討した上で、代議員会に率直に話をして、互いに知恵を出し合って行くことが大事です。

限られた紙面の中で全てを説明するのは難しいのですが、どうかこの現状をご理解いただき、同窓会会員一人一人の協力によって、年会費を払う人が増えて、収入が一歩ずつ前進すれば同窓会活動を更に活性化して、同窓生の輪を大きく拡げて行くことが可能になります。

日本大学第二学園卒業生の皆さん、年会費の納入をよろしくお願いいたします。

〈同窓会協賛広告〉

山内一矢 法律事務所

弁護士

山内一矢(高校35回)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-29 虎ノ門産業ビル8階
電話 03(3501)1147 FAX 03(3501)1148
E-mail : yamauti@office.email.ne.jp

〈同窓会協賛広告〉

炭火焼鳥「串侍」

田村隆一(高校36回)

小平市学園西町2-15-32
電話 042-344-2339
水曜定休



〈同窓会協賛広告〉

創業60年の老舗

株式会社 萩窪中華そば春木屋

山崎絵里子(旧姓、今村)(女子48回)

〒167-0043 杉並区上荻1-4-6
萩窪本店 Tel 03-3391-4868
吉祥寺店 Tel 0422-20-5185

平成19年度決算・平成20年度予算 経常部会計報告

日本大学第二学園同窓会
自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

収入の部

科 目	平成19年度決算額	平成20年度予算額
1. 会 費	5,436,000	5,770,000
(1)入 会 費	4,260,000	4,170,000
(2)年 会 費	1,176,000	1,600,000
2. 寄 付 金	3,561,649	3,500,000
(1)経常部寄付金	230,608	500,000
(2)80周年記念募金	3,331,041	3,000,000
3. 桜朋協賛広告費	270,000	450,000
4. 雑 収 入	166,640	100,000
5. 前年度繰越金	1,369,165	667,301
合 計	10,803,454	10,487,301

支出の部

科 目	平成19年度決算額	平成20年度予算額
1. 部 会 付 金	60,000	60,000
2. 会 議 費	569,346	600,000
(1)総 会 費	221,962	250,000
(2)役 員 会 費	347,384	350,000
3. 卒業 記念品費	292,793	300,000
4. 慶弔 費	10,000	30,000
5. 会 誌 費	3,292,277	3,530,000
(1)会 報 費	1,178,888	1,410,000
(2)発 送 費	1,447,645	1,450,000
(3)発 行 雜 費	665,744	670,000
6. 儀 礼 費	140,000	140,000
(1)お祝い金	140,000	140,000
7. 組織活動強化費	180,000	200,000
8. 人 件 費	1,163,900	1,200,000
9. 事 務 費	236,464	240,000
(1)消 耗 品 費	20,393	30,000
(2)印 刷 費	216,071	200,000
(3)事 務 雜 費	0	10,000
10. 通 信 費	261,642	270,000
11. 郵便局振込手数料	68,330	100,000
12. 同窓会基金積立金	100,000	100,000
13. 慨 学 金	200,000	200,000
(1)慨 学 基 金	0	0
(2)慨 学 金	200,000	200,000
14. 80周年記念募金	3,155,541	3,000,000
15. 80周年記念事務諸費	154,490	160,000
16. 雜 費	0	10,000
17. 予 備 費	251,370	347,301
18. 次 年 度 繰 越 金	667,301	0
19. 合 計	10,803,454	10,487,301

平成19年度 特別会計収支決算

日本大学第二学園同窓会
自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

◎同窓会基金

収入の部	(単位は円)
前 年 度 繰 越 金	18,373,749
経常部より繰入	100,000
寄 付 金	0
利 息	38,162
合 計	18,511,911

◎同窓会奨学基金

収入の部	(単位は円)
前 年 度 繰 越 金	12,573,386
経常部より繰入	0
寄 付 金	0
利 息	19,272
合 計	12,592,658

◎同窓会奨学金

収入の部	(単位は円)
前 年 度 繰 越 金	7,486,395
貸 付 金 返 還	255,600
経常部より繰入	200,000
奨学基金より繰入	0
寄 付 金	22,346
利 息	13,405
合 計	7,977,746

以上の通り報告いたします。

平成20年5月23日

日本大学第二学園同窓会 会長 大塚 憲
会計 高山 正幸
田中 一成

監査報告

先の平成19年度収支決算報告、特別会計の収支決算報告について、監査の結果すべて正確に処理されていることを認めます。

平成20年5月7日

監事:井口 昭治・坂井 益夫
小俣 宗昭・長島 庫子

編集スタッフ (各紙面担当者)

表紙 淵上 晃(高校26回) 8頁-9頁

阿部 公俊(高校29回)

2頁 尾崎 守一(高校23回)

3頁 潤上 茂一(高校30回)、他30回生

4頁-5頁 横瀬 勝美(女子23回)

阿部 公俊(高校29回)

6頁-7頁 上田 勝(高校30回)

藤田 勉(高校30回)

阿部 公俊(高校29回)

菅原 明子(女子29回)

尾崎 守一(高校23回)

上野 雅大(高校23回)

山崎 昌幸(高校 6回)

山本 恵子(女子24回)

10頁

11頁

12頁

※同窓会協賛広告及び封筒デザインは、
30回生が担当しました。

編集後記

「50周年記念号」この重みを感じながら、先輩方も苦慮しながらの編集作業だったんだろうと思い、過去の記念号を紐解いてみた。実際に携わっている者から見ると、紙面には表れない苦労が取って見えるようでした。昨年と同様、これまでの「桜朋」に載らなかった、学園の歴史の一こまを探し、また取材を兼ねて、野球部・ラグビー部の応援に声をからし、身も心も熱くなった今年の夏が、過ぎていきました。

編集委員長 尾崎 守一(高校23回)

本学園は80周年を過ぎ、同窓生の数多くの方々は若き良き日々を本学園で過ごした事を誇りに思っていることでしょう。そして毎年送られてくる桜朋を楽しみにしている同窓生の方々も多いのではないかでしょうか。本特集は校訓についてですが、同窓生の方々はどんな思い出があるでしょうか。また、今回の同窓会総会は懐かしい学園で行われます。みなさん是非、本学園に足を運ばれて懐かしさに包まれてください。

編集副委員長 横瀬 勝美(女子23回)

同窓会 会務報告

「桜朋49号」19.10.1(月)

発行数25,419通(うち海外41通) 戻り443通

在校生配布数1,995通 職員配布数150通

「総会」19.11.16(金)

京王プラザホテル

旧中 7名、旧商 4名、高男 174名(うち29回生男子69名)、高女 97名(うち29回生女子63名)、来賓 22名

「卒業式参列」20.3.1(土)、20.3.18(火)

20.3.1(土)高校卒業式に同窓会を代表して大塚会長が出席。

20.3.18(火)中学卒業式に同窓会を代表して大塚会長が出席。

「高校第60回卒業生」

男子222名、女子195名の、男女合計417名が卒業されました。

「同窓会奨励賞」

学園推薦による男女各1名に奨励賞状と記念品(バーバリーの折畳み傘)を贈呈

「中学第61回卒業生」

男子116名、女子120名、合計236名が卒業され、うち外部へ9名転出、二高進学者は227名でした。

「卒業記念品」

高校卒業生全員に「卒業証書用ホルダー」を贈りました。

「入学式参列」20.4.6(日)

午前・中学入学式、午後・高校入学式に同窓会を代表して大塚会長が出席。

「監査会」20.5.7(水)

監事4名、会計担当常任理事、事務局担当者により、19年度会計監査が行われました。

「理事会」20.5.23(金)

代議員会に提案する議案について審議しました。

「代議員会」20.6.6(金)

報告事項…①平成19年度事業報告②平成19年度決算報告
③平成19年度監査報告④80周年記念募金納入状況⑤その他
協議事項…①平成18年度事業計画案について②平成18年度予算案について③桜朋編集委員長の推薦委嘱④総会実行委員長の推薦委嘱⑤その他

「慶祝弔意文発送」

弔文12通。(同窓会事務局に連絡があった分)

「同窓生数」卒業生総数39,279名

旧中3,392名、旧商3,600名、高校18,955名、
高校(定)1,088名、女子部7,235名、共学5,009名

8月16日土曜日、体育館に二人の中年男が立ちすくんでいた。「F先輩、これが綿帳ですか」「まだ綿帳は下りてきていよいよ。そりゃあ、袖幕だ」撮影は蒸し暑さがこたえた。でも、次第にさまざまな想いが織り目に見えてくる。同窓の絆を強く感じた編集作業。50号の誌面から少しでもそれが伝わり、広がれば熱誠努力の甲斐がある。撮影後、荻窪の焼鳥屋に駆け込み交わした麦酒に、地域との絆も強まった。

編集副委員長 阿部 公俊(高校29回)